

鹿児島市立美術館

市美だより 2019. 秋号

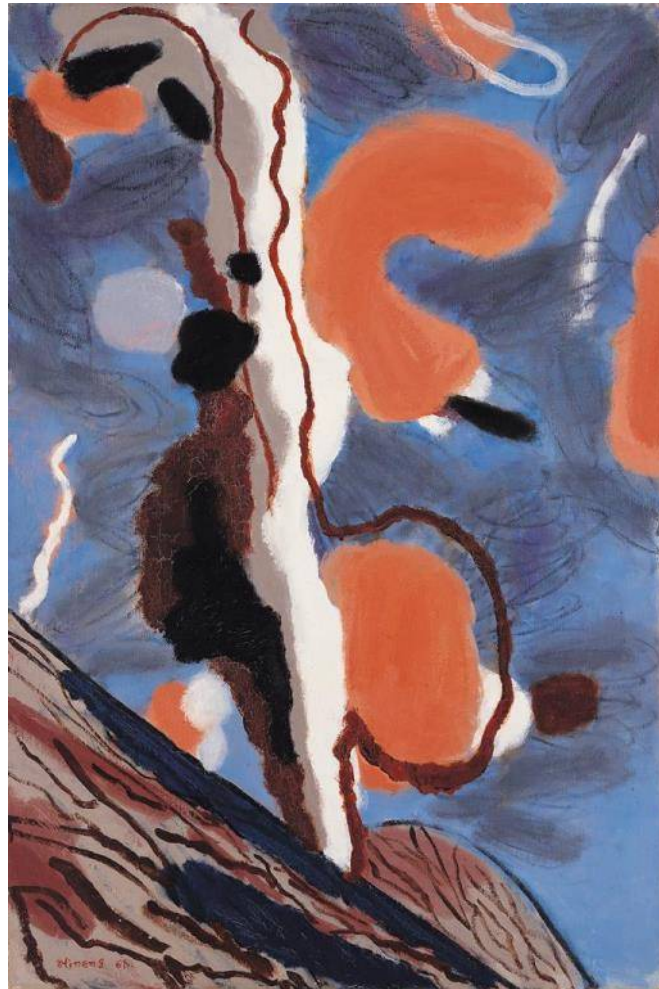
8年越しの念願かない爆発を描く

そみや いちねん
曾宮 一念

日本を代表する活火山・桜島は、多くの画家によって描かれています。静岡の洋画家・曾宮一念もその一人で、溶岩や噴煙を好んで描きました。

1949年に初めて訪れた桜島は、大正噴火から35年、昭和噴火から3年しか経過しておらず、今にも湯気が出そうな黒々とした溶岩が見られたそうです。小さな蒸気船で島の沿岸部を航行した際、海辺の溶岩と波しぶきが織りなす変化に富んだ景色に魅了され、以後「桜島渡航百回」を自称するほど足しげく桜島を訪れました。

念願の爆発に遭遇したのは7年後の1956年のこと。この作品は、刻々と変化する噴煙を速写した当時のスケッチと記憶をもとに、1961年に描かれました。想像力を駆使して再構成された躍動的な表現からは、爆発に遭遇した画家の高揚感と火山特有の力強い美しさが伝わってきます。



《南岳爆発》1961年

「小・中学生の 常設展示 無料の日」

毎月 第3日曜日 は、小・中学生は通常 150 円の常設展を無料でご覧になれます。

10月20日(日)は、秋の所蔵品展を

11月17日(日)は、秋の所蔵品展と小企画展「薩摩ん殿様とその時代」を

無料で観覧できます。

※特別企画展「曾宮一念展」は有料です。



秋の所蔵品展

10月1日(火)～11月24日(日)

●展示中の主な作品●

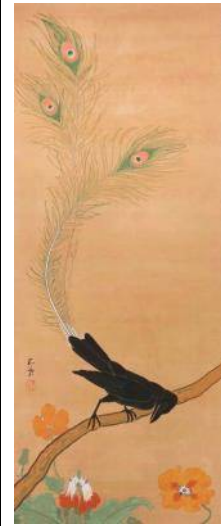
西洋
油彩画



マックス・エルンスト 《石化せる森》1927年

日本画

橋口五葉 《美しい鳥》



西洋
彫刻

アリストイド・マイヨール 《つらわれのアクション》1905年



★ ギャラリートークのご案内 (作品解説会)

学芸員が作品について分かりやすく解説します。

毎週土曜日、
14:00～15:00

実施しています。



《トーク内容》

- 10月5日 特別企画展「没後25年 曾宮一念展」
- 10月12日 秋の所蔵品展「日本の美術」
- 10月19日 特別企画展「没後25年 曾宮一念展」
- 10月26日 秋の所蔵品展「西洋美術」
- 11月2日 特別企画展「没後25年 曾宮一念展」
- 11月9日 秋の所蔵品展「日本の美術」
- 11月16日 小企画展「薩摩ん殿様とその時代」
- 11月23日 秋の所蔵品展「西洋美術」
- 11月30日 小企画展「薩摩ん殿様とその時代」

特集：桜島に魅せられた画家たち

秋の特別企画展 鹿児島市制130周年記念「没後25年 曾宮一念展 溶岩と噴煙を愛した色彩の画家」にちなみ、当館の所蔵する桜島コレクションの中から、曾宮とゆかりある画家たちによる桜島を描いた作品を特集で紹介します。

大正噴火に遭遇し刻々と変容する桜島を描いた黒田清輝の《桜島爆発図》(全6点)をはじめとする郷土作家の作品のほか、曾宮一念と同じく桜島に魅せられ県外から鹿児島を訪れてその姿を描いた梅原龍三郎、青山義雄、田村一男、西山英雄の作品を展示します。多くの作家を魅了し続けてきた桜島の様々な表情をお楽しみください。

その他、曾宮の師である藤島武二や後輩の谷口午二ら鹿児島ゆかりの作家による作品も展示します。



山下兼秀 《桜島爆発図》1914年

黒田清輝に学んだ山下兼秀は、大正3年、桜島の大爆発に出会い、その様子を6点の油絵連作に描きました。

